



## 活動報告

### <佐々木隊員>

#### 剣淵のお菓子づくり②

北海道で初めての夏を過ごしていますが、想像よりも暑くて驚きです。少し前までは「北海道の夏は涼しいんやろな〜♪」とウキウキしていましたが、そうでもなかった…。盆地による寒暖差の厳しさを体感しています。しかし、最近ちょっと家庭菜園を始めたのですが、良いお天気が続いた日の野菜の育ちっぷりは、凄いですね！面白いほどメキメキ姿を変えています。(同じく雑草も勢いが止まりません)。農作物が生長するために、この暑さは特に必要な要素なのだと実感しています。

さて、先月号で、お菓子の商品開発を始めたことを書きました。どういったものを作るか固まってきたので、少しずつ紹介していきたいと思います。まず、剣淵に来られた方にお土産として購入していただきたいので、「日持ちのするもの」が大前提です。お菓子の中では賞味期限の比較的長いクッキーを作ることに決めました。クッキーは好き嫌いが少なく、お土産品としては定番です。シンプルなので飽きづらく、また食べたくなる味にしたいなと思います。美味しい野菜の採れる農業のまちであることを知っていただくために、野菜のパウダーを生地に練りこみ、カラフルなクッキーにしようと思っています。



↑試作中のクッキー。じゃがいものシャドークイーンとデストロイヤーのパウダーを練りこんでみました。

### < 青木隊員 「スマートフォンも英語も同じ」 >

コミュニケーションにおいて、スマートフォンと英語の役割は同じだと思います。どちらも誰かとつながるために使う道具という点で。では、若い人は小さい頃からスマートフォンを使いこなしていますが、英語はどうでしょう？「使わないから使えない」となっていませんか？

幼少期からALTの先生に英語を学べる環境に恵まれた剣淵町で、もっと英語を使って「使える道具」にするための場所があればいいなと思いました。そこで、7月21日に日常英語を使える「イングリッシュ・アンド・ミュージック・カフェテリア」という英語空間の喫茶店のような場所をオープンしてみました。参加いただいた方々は実際に英語を使えたでしょうか？

もちろん、英語は人とつながるための道具の一つにすぎません。他の道具も使って町での交流を活発化できればいいなと思います。



日本国外で英語よりも役立ったのは、「何でも食べてみたい」という旺盛な食欲でした(苦笑)

勧められたものを食べて「美味しい！」となれば、たちまち笑顔で人とつながれます♪

# 活動報告

## 〈鈴木隊員〉



地域交流館でとてをご利用の方々が、似顔絵付きの看板を制作してくださいました。

ありがとうございます。

剣淵町がこれまで以上に元気になるキッカケが生まれると最高です。

私はこれができ、彼はあれができる。この二人が協力すれば、一人ではできないことが可能になります。多くの方々と協力関係を築くことができれば、可能性は無限に広がり、間違いなく剣淵町は今以上に元気になると思っています。このようなキッカケづくりの場となることを願い、9月にも「よってか Night」を開催することを検討しています。

じゃがいもの花が咲く季節、つまり、ビールパーティーが盛んな時期がやってきました！農作業後の一杯、仕事終わりの一杯、運動後の一杯、お風呂上がりの一杯、どのタイミングもビールが美味しい！この夏も上手にビールとお付き合いしたいと思います。笑

6月16日に「よってか Night」を開催しました。この企画は、大人が楽しそうにしていれば、その姿を見た子供も楽しく感じるのでは？町民が楽しそうにしている町は、元気な町につながるのでは？というところからスタートしています。仕事終わりに、ふらふら一っと立ち寄るような感覚で、その場にいる方々同士で楽しむところから



早くも7月14日に第2回よってか Night を開催！！

フェイスブック  
地域おこし協力隊 の Facebook ページ

<http://www.facebook.com/kembuchicok/>

## 「みんなが考えるまちづくり」インタビュー

### 【第二回】子どもたちの未来のために



トイ・トイ・トイ  
～けんぶちからのおくりもの～  
代表 瀧見 絵美さん

「トイ・トイ・トイ」は生産者と消費者の目線から地元農産物の特色や良さをいかした加工品を作って販売している加工グループです。

・6月に「ペップトーク（元気・勇気が出る言葉がけ）」のお茶会の発起人をされていましたね。

「息子の野球をきっかけにペップトークを知り、実際に自分で使ってみて『効果がある』と思ったので、多くの人にも実践してもらえればと思ったんです。みんなプラスの方向へ向かえばいいなど。堅苦しくないお茶会スタイルは講師の先生のご提案です。」

・お茶会の他にもお菓子作りで町を盛り上げてらっしゃいますよね。

「剣淵町の子どもたちが『地元のお菓子なんだ！』と言って手土産に持って行ってくれることを夢見て地元産のお菓子作りをしています。」

・活動の原点には町への愛を感じますが、「まちづくり」って何だと思いませんか？

「何十年後かに今の子供たちが『剣淵町はいいところだよ！』と言える環境を今整えることかな。」

ここでアイデアを紹介したい方は、役場町づくり観光課の地域おこし協力隊青木までご連絡ください！  
(電話) 0165-34-2121 (Email) s-aoki@town.kembuchi.hokkaido.jp (FAX) 0165-34-2590